

医学部医学科 + 東大・京大
現役合格者占有率ランキング

順位	学校 (所在地)	医学部+東大・京大	
		現役合格者数	現役占有率 (%)
1	△筑波大付駒場 (東京)	101	62.0
2	○灘 (兵庫)	114	52.1
3	○開成 (東京)	175	43.6
4	○甲陽学院 (兵庫)	89	43.2
5	○聖光学院 (神奈川)	97	42.0
6	○東大寺学園 (奈良)	85	40.5
7	○久留米大付設 (福岡)	81	40.1
8	○大阪星光学院 (大阪)	64	36.4
9	○桜蔭 (東京)	78	34.2
10	○麻布 (東京)	84	27.3
	○栄光学園 (神奈川)	51	27.3
12	○白陵 (兵庫)	51	27.1
13	○洛星 (京都)	53	25.4
14	○駒場東邦 (東京)	58	24.9
15	○ラ・サール (鹿児島)	56	24.9
16	○北嶺 (北海道)	30	24.4
17	○東海 (愛知)	102	23.9
18	○広島学院 (広島)	37	19.9
19	北野 (大阪)	63	19.8
20	○愛光 (愛媛)	45	19.7
21	○渋谷教育学園幕張 (千葉)	67	19.4
22	○海城 (東京)	61	18.6
23	○洛南 (京都)	83	18.2
24	○女子学院 (東京)	40	17.9
	○西大和学園 (奈良)	60	17.9
26	札幌南 (北海道)	57	17.8
27	○浅野 (神奈川)	47	17.7
28	△広島大付 (広島)	35	17.4
29	○六甲学院 (兵庫)	28	16.9
30	小石川中教 (東京)	26	16.7

国公立大 医学部医学科
現役合格者占有率ランキング

順位	学校 (所在地)	現役	現役
		合格者数	占有率 (%)
1	○灘 (兵庫)	58	26.5
2	○久留米大付設 (福岡)	37	18.3
3	○北嶺 (北海道)	21	17.1
4	○甲陽学院 (兵庫)	33	16.0
5	○白陵 (兵庫)	29	15.4
6	○ラ・サール (鹿児島)	34	15.1
7	○愛光 (愛媛)	34	14.8
8	○大阪星光学院 (大阪)	24	13.6
9	△筑波大付駒場 (東京)	22	13.5
10	○東大寺学園 (奈良)	28	13.3
11	○昭和薬科大付 (沖縄)	26	12.6
12	○桜蔭 (東京)	27	11.8
13	○東海 (愛知)	50	11.7
14	△広島大付 (広島)	22	10.9
15	札幌南 (北海道)	35	10.9
16	○広島学院 (広島)	18	9.7
17	○開成 (東京)	37	9.2
18	○洛南 (京都)	40	8.8
19	△金沢大付 (石川)	11	8.7
20	○駒場東邦 (東京)	19	8.2
21	○洛星 (京都)	17	8.1
22	秋田 (秋田)	21	7.7
23	○智辯学園和歌山 (和歌山)	19	7.6
24	岐阜 (岐阜)	26	7.4
25	○海城 (東京)	24	7.3
	○弘学館 (佐賀)	12	7.3
27	○ノートルダム清心 (広島)	13	7.3
28	○六甲学院 (兵庫)	12	7.2
29	富山中野 (富山)	20	7.2
30	大分上野丘 (大分)	22	6.9

卒業生に対する比率を「占有率」としてまとめた現役合格者数が3人以上の学校を集計

まとめたのが、前ページの「国公立大医学部医学科合格者数ランキング」だ。
1位は12年連続の東海。地元の名古屋大の合格者が29人と多く、医学部合格者の4分の1超が同校

出身者だ。駿台の石原さんは、同校の伝統に注目してこう話す。「国公立大医学部志望者がコンスタントにいる学校は少なく、医学部入試に対応できないケースもある。その点、高い合格実績が続い

てきた学校はノウハウの蓄積があり、適切な指導ができる。多くの仲間が医学部を目指して切磋琢磨する環境も見逃せない」
2位の灘は、医学部合格者の総数では東海に譲るが、東大が21人で合格者のうち20・8%、同じく京大は26人で23・9%を占める。3位洛南、4位ラ・サール、5位開成、6位甲陽学院と中高一貫校が占める中、札幌南は北海道大に合格者の20・6%となる21人が合格し、総数で7位に入った。12位の熊本や15位の旭丘、18位の仙台第二と大分上野丘など、地元大学の高い合格実績を背景に、多くの公立伝統校がランキングしている。
3年制の公立校が健闘する合格者数ランキングと対照的に、上表右の「国公立大医学部医学科現役合格者占有率ランキング」は、1位灘、2位久留米大付設、3位北嶺、4位甲陽学院……と、14位の広島大付までが中高一貫校だ。「国公立大医学部は、センター試験や2次試験で取りこぼしが許されない。2次試験の問題がハイレベルな東大や京大と違って、一般

的な大学の医学部の2次試験は他学部と同じ問題を使用していることから合格最低点が高く、センター試験の失敗を逆転できないのである(駿台の石原さん)
6年制で余裕がある中高一貫校と異なり、3年制の公立校は2次試験対策が遅れがち。さらに、卒業生数が多いことも、現役占有率が上がらない要因となる。
医学部と同様に進学校の力を測る物差しである東大と京大の現役合格実績を合わせて比べると、さらに中高一貫校が強くなる。「医学部医学科+東大・京大現役合格者占有率ランキング」では、18位の広島学院までが該当する。
1位の筑波大付駒場、3位開成、5位聖光学院、6位の東大寺学園などは、医学部のみランキングはそれほど高くないが、東大+京大合格者数を足すことにより上位に。2位の灘や4位の甲陽学院などは医学部と東大・京大を加えた両方で上位。12位の白陵や15位のラ・サールなどは、医学部ランキングに比べると順位が低い。進学校と一言でいっても、それぞれ特